

2017⁶月



原水協通信

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

ヒバクシャ国際署名で世界を変えよう!

第55回定期総会成功裏に

五月二十七日、大阪原水協第五十五回定期総会が大阪府社会福祉会館で開催されました。各地域、団体から七十六名が参加。議案討議、採決の後、土田弥生・日本原水協事務局長次長から「国連会議に参加して」の演題での記念講演が行われました。国連での感動的なエピソードなども紹介され、現在の国際情勢への確信を深めました。その後ニューヨーク代表団の壮行会が行われ、代表団の決意が表明されました。

議案討論

活発に討論続く

議長は大阪民医連の廣川昂彦さんで進められ、六名の方が討論に参加されました。大阪平和委員会の上羽治雄さんは大阪

市立大学での軍学共同を戦争法の署名賛同の方に告発。西淀川労連・矢野正 再度ヒバクシャ国際署名の住民過半数を目指した。新婦人府本部の長原爆被害者の会の山川実 岡ゆり子さんは、署名を英さんは、「大阪府内ではなど創意あふれる取り組みを報告しました。二十二市にしか被爆者団

も核兵器のない世界を」の決意。老健施設みはらの岸上耕平さんは、「平和は民医連綱領でもうたっています」。民青の大勝地平さんは「現地で学んだことをみんなに」。大教組の岡本亮介さんは、「今回の参加に感謝しています」(同じく大教組から参加の中林真理子さんは、組合大会で欠席)。大学四年生の山本樹さんは、「ニューヨークの人々に、核兵器禁止条約に、国民と被爆者は賛成していることを伝えたい」と決意。パルコプの増田博さんは、「初めてのニューヨークで緊張しています」。団長の岩田幸雄さんは、「今回の代表団は、それぞれの団体の奮闘の成果。このことを忘れず、がんばってきます」と決意を語りました。



☆6月15日に出発するニューヨーク行動大阪代表団9名の壮行会も行われました

体がありませんが、情勢はすばらしいものになっています」と発言されました。AAの村上得世さんは、カンパ九万円を集めて大阪代表団に託す活動を紹介します。八尾原水協の木村薫さんは、意気高く壮行会にニューヨークから大阪代表団の壮行会が行われ全員が決意を表明。戸川省三さんは、「孫五人のために

国連舞台裏のドキドキ



土田さんは、IPB(世界平和ビューロー)の執行委員。国際会議はベテランですが、さすがこの国連会議での演説を待つ間は、ハラハラ、ドキドキ。たった三分間をもらうのに一日半待ちました。各国を代表する首脳と対等に市民社会の代表が発言できたことは、国連でも画期的なことでした。三分間の間、手に汗びっしょりだったそうです。

ヒバクシャ国際署名到達

11万8211筆

6月度6・9行動

☆6月6日(火)12時~

☆上本町近鉄百貨店前

ノーモア・ヒバクシャ訴訟全面勝利を！

「国連会議」学習



☆集会で講演される高草木さん

六月三日、大阪グリーン会館で「ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟の全面勝利をめざすつどい」が、八十二名の参加者で開かれました。

記念講演に立った高草木博・日本原水協代表理事は、「核兵器全面禁止をめざすヒバクシャの闘い」の演題で、現在の核兵器禁止条約をめぐる国際情勢とヒバクシャ運動

の重要性を次のように強調されました。

「核兵器禁止条約の草案では、前文で被爆者、核実験被害者の苦難に特別に留意し、また国連、赤十字とともに市民社会の運動と被爆者の努力に言及しています。このことは、原爆投下から七十二年苦難に満ちた被爆者運動に敬意を表したものです。また1

955年からの私たちが取り組んできた原水爆禁止運動を高く評価していることを意味しています。日本の毎年の国民平和大会や世界大会が行進や世界大会が世界を動かしたことを表しています」と、私たちに大きな確信となる講演でした。

2017国民平和大会

府内行進6月30日スタート！

今年も2017年国民平和大会・東京く広島コースが六月三十日大阪に入ります。大阪府内行進では、八幹線コース、網の目十五コースの計二十三コースで府下の全自治体四十三自治体を訪問します。府下で最も早い平和行進は、六月二十五日の熊取町く泉佐野コースです。府下で最も集中するのが七月四日、大阪市内で行進

される幹線1コースと6網の目コースです。全国通し行進者は、西田好重さん(滋賀県原水協)です。東京く広島まで九十日をかけて歩いており、現在愛知県を行進しています。

今年の府内通し行進者は十三名と、最近では最も多い参加者となり大いに活気づいた府内行進となりそうです。

します。アブリザル・サリックさん(ミランダナオ人民解放運動)、A・G・サニョさん(平和を教え、平和運動をつくらう)が行進します。サリックさんは、府内全日程八日間



☆昨年の柏原市大和川河川敷での出発集会より



☆A・G・サニョさん

今年五年目となる国際青年平和リレーには、フライピンから二名の青年が参加

サニョさんは、二日間行進します。二人を支えるカンパ活動も求められています。

現在、各コース実行委員会が開催され、準備がすすめられています。また大阪府警には六月七日、各コースの申請が行われます。